

TAITO COMPASS パブリックコメント実施結果

意見受付期間	令和6年12月17日（火）～令和7年1月7日（火）		
意見受付場所	区公式ホームページでの受付のほか、各区民事務所・分室・地区センター、区政情報コーナー、生涯学習センター、中小企業振興センター、産業振興課窓口で中間のまとめ閲覧・意見受付。		
意見受付件数	5人、11件		
提出方法の内訳	郵送 0人（0件）	ファクシミリ 0人（0件）	
	ホームページ 5人（11件）	持参 0人（0件）	

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
Chapter 1	1	「TAITO COMPASS」の随所に、台東区「らしさ」とあるが、国際色が豊かなことも台東区「らしさ」ではないか。例えば台東区には、御徒町駅周辺にインド系のジュエリーショップが多くあり、また東上野には日本最古と言われるコリアンタウンも存在する。これら在日外国人の産業も、台東区「らしさ」としてアピールすべきであると思うし、逆にこれらの産業にまったく触れないのは不自然であるとも感じられる。	5頁のVisionの説明文において、多種多様な産業の集積、事業者の多彩な個性が台東区「らしさ」を形作っていますとし、いただいたご意見の内容も含め記載しています。
	2	Action① 未来へのステップの吹き出しのコメントに「シャッターを開き1階をまちに開こう」などを追加してはいかがでしょうか？理由としてずっとシャッターのまま開かない店舗や、マンションのエントランスになってしまう事を避けるべきだと考えるからです。	未来へのステップの吹き出しは、事業者が自分事として捉えてもらえるよう工夫をしたものです。当該Actionでは、地域資源の魅力を再発見した時の感想や、まちの特性に合わせた取り組みに挑戦した事業者の想いを例示として掲載しています。 【Action① 地域資源を活かす】

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
	3	<p>Action②の「誰もが知る「ものづくりのまち」へ」において、「地場産業を中心に「ものづくりのまち」として盛り上がっている」とあります。大変すばらしい未来かと思いますが、ぜひクリエイターだけがものづくりをしている未来ではなく、市民（消費者）もクリエイターから教わったりしてものづくりが出来るような未来を目指していただきたいと思います。最近はリペアカフェのように、修理の仕方をプロ（クリエイター）が教えて、市民が自分の手で直したりする文化も出てきています。台東区もぜひそういった文化をもつ街になってほしいと思います。</p>	<p>誰もが知る「ものづくりのまち」の実現に向け、ものづくりに携わる方と消費者が交流するさまざまな取り組みを事業者と行政が一丸となって進めてまいります。</p> <p>【Action② 誰もが知る「ものづくりのまち」へ】</p>
Chapter 1	4	<p>Action⑥ 未来へのステップ「ものづくりの創業支援施設で事業を大きくする」とありますが起業・創業は「ものづくり」だけではないので削除してもいいのでは？Action②でも「ものづくり」については言及していますので、台東区らしさを出したいのであれば「クリエイターがまちに残りやすい地域にする」とかではいかがですか？</p>	<p>未来へのステップ「ものづくりの創業支援施設で事業を大きくする」を「創業の支援メニューを活用して事業を大きくする。」に記載を改めます。</p> <p>【Action⑥ 起業・創業への挑戦】</p>
	5	<p>Action⑧ こうありたい未来の項目が他のActionは4つ以上あるのに3つしかありません。時代の変化に適応するにはまずトップ（経営者）の意識が変わらなければ不可能です。せっかく台東区がビジョンを示すのであれば事業者側にも「経営者がビジョンを示す」などを追加してはいかがでしょうか？</p>	<p>16頁の未来へのステップで「経営課題に向き合い、行動する」とし、いただいたご意見の内容も含め記載しています。</p> <p>【Action⑤ 経営を強くする】</p>

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
Chapter 1	6	Action⑨ こうありたい未来「新しい社長のチャレンジを従業員も応援している」ではなく今の時代、社長が社員の挑戦を応援する組織の方が強いと思います。なので「従業員が新しいチャレンジをするのを社長が応援している」の方が若い人にはしっくりくるのではないのでしょうか？	<p>当該 Action は、いわゆる事業承継に関するものであり、事業承継を経ても新たな経営者と従業員の良好な関係が構築されている様子として「新しい社長のチャレンジを従業員も応援している」と表現しています。</p> <p>【Action⑨ 事業者の想いや技術をつなぐ】</p>
	7	Action⑩ 未来へのステップに台東区は未来も職住近隣のまちにする方がいいと思いますので担い手の定着・育成の政策として「働く人が職住近隣になるように努力する」などを入れてはいかがでしょうか？以前、新婚家庭に家賃補助を出していたように区内に従業員を住ませ地域活動に参加すれば家賃補助などを出す制度を検討していただけたら幸いです。	<p>いただいた意見を参考にするとともに、区内事業者を取り巻く環境を注視・分析しながら、TAITO COMPASS に基づく産業施策を検討してまいります。</p>
	8	「TAITO COMPASS」は人手不足の深刻化、SDGs の目標 8 「働きがいも経済成長も」も課題にしており、深刻な人手不足に直面し、かつ「働き方改革」に対応が急がれる建設業への支援強化を求めます。	<p>人手不足や働き方改革については、Action⑩「担い手の育成」に記載しています。区内事業者を取り巻く環境を注視・分析しながら、TAITO COMPASS に基づく、産業施策を検討してまいります。</p>
	9	「中小企業憲章」「台東区中小企業振興条例」の区民への周知、大手デベロッパー主体の再開発ではなく若者が住み暮らしやすい暮らしをまちづくり、特に空き家をシェア社宅にして若者居住を増やしてほしいとの政策は重視していただきたいと思います。	<p>いただいたご意見を参考にするとともに、区内事業者を取り巻く環境を注視・分析しながら、TAITO COMPASS に基づく産業施策を検討してまいります。</p>

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
資料編	10	建設業は、多くの雇用を生む産業で、衣食住の「住」を担う産業であり、建設労働者は災害時に地域住民の命を守る防災減災に大きく関わり、生活支えるためのエッセンシャルワーカーであることを踏まえ、建設業を台東区の主要産業へ位置づけてください。	多種多様な産業により台東区らしさが構成されていると考えており、主要産業という区分は行っておりません。
	11	68～69頁の「商店街マップ」には、昨今、日本一の長さとなったとされる東京国際通り振興会の記載がないように思われる。やはり既存の3商店街をつないだ東京国際通り振興会は、地元にもほとんど認知されておらず、日本一を名のるのは無理があるのではないか。	商店街マップには、「台東区商店街の届出に関する取扱要領」第4条により商店街名簿に登載された商店街を掲載しています。